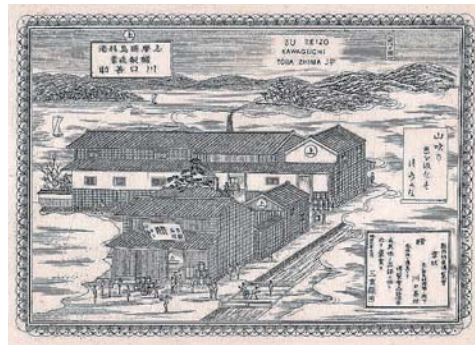


鳥羽市内には、多くの蔵が残されています。しかし、近年、所有者のかたの事情で解体されたりして、旧家の蔵の資料がそのまま処分されてしまっていることがあります。

下の写真は、平成12年に寄贈された藤本家の蔵の史料の中から見つかった版画絵です。みなさん、この版画絵に見覚えがありませんか？実は、旧広野家住宅の版画絵と同じような描き方がされているのです。おそらく同じ作者によって明治20年ごろに作成されたものと考えられます。

この版画絵にある「川口善



藤本家の蔵の中から見つかった版画絵



おなじみの旧広野家住宅の版画絵

助醋(す)店」は、現在はありませんが、藤之郷の旧広野家住宅の近くにあった、お酢屋さんです。版画をみると赤崎銅山を「川口銅山」と呼んでいることから、銅山の所有者でもあったようです。

藤本家は、戦後まで回漕店(運送業)を営んでおり、蔵の

史料には、当時の帳簿などが良好に残されていました。これにより、当時の鳥羽が港町としてどんな地域と交易をしていたのかよく分かります。

また、明治24年当時の鳥羽の長者番付の記録も見つかり、1位は広野藤右衛門であると記されています。

このように、一見古びた文書や手紙などでも、昔の鳥羽を調べる貴重な史料となる可能性があります。ご自宅の蔵を処分される予定のあるかたで、昔の文書や帳簿などの史料がある場合は、ぜひ、教育委員会へご相談ください。

これまで、知られることのない新たな鳥羽の歴史が判明することがあるかもしれません！

「いやいやばかりでどうしていいか…」「友だちにおもちゃが貸せません」など、子育てにはさまざまな心配がつきものです。だれかに相談したくても、近くに相談相手がない。だからといって、体の病気のように診察してもらおうわけにもいきません。厳しくしかつてみたり、甘やかしてみたり、試行錯誤しながら毎日を送っているかたもいらつしやることでしょう。

そんなみなさんの声を受けて、7月24日に「子育てしつけ講座」を開きました。

★ ★ ★ ★ ★

講座では、「子育ての基本は『だっこ』と『おんぶ』。スキンシップは、大切な心の栄養であり、こどもの心に安心感を与えます。自立心が育つのは、こうした触れ合いが十分に なされてからです。ひとつ、

ふたつ、みつと『つ』がつく年齢のうちには、親が十分に手や目をかけてあげましょう。また、2歳を過ぎたころになるとこどもは自己主張を始め、『いやいや』のオンパレードです。親は、つい、いらしてしまいがちですが、『自分』というものが育ってきた証拠ですから、『嫌が言えるようになつて、成長しているな』と喜んでください。

その中で、『周りの人が迷惑することもあるよ』生活には決まりがあるよ』ということ は、しっかりと教えてあげてください』と、保護者の心に響くお話をしていたきました。

参加者のかたからは、『毎日の生活に追われる中、初心に戻つて考え直すことができました』「しかりそうになつたとき、今日の話を思い出します』などの感想が聞かれました。

蔵の中にはお宝が!!
新史料発見!!

鳥羽のお宝
再発見!



vol.5

教育委員会生涯学習課

☎ 1268

みんな子育て



子育て広場

だっこでほっと

子育ての基本は「だっこ」

vol.5

子育て支援センター

☎・FAX 7221